

平成 24 (2012) 年 5 月 15 日

日本経営倫理学会

会長 高橋 浩夫

7 月度研究交流例会開催の件

2012 年 7 月度研究交流例会を下記の要領により開催いたしますので是非ご参加ください。

今回は民主党衆議院議員網屋信介氏と前日本経営倫理学会副会長・東京交通短期大学学長田中宏司氏による報告を予定しております。

記

1) 日時：平成 24 (2012) 年 7 月 21 日 (土) 午後 1 4 時より午後 1 7 時

2) 場所：経営倫理実践研究センターセミナー室 (地図→[クリック](#))

3) テーマおよび報告者：

①14 時 00 分～15 時 20 分：「民主党資本市場・企業統治改革ワーキングチームによる改革案について」

網屋信介氏 (民主党資本市場・企業統治改革ワーキングチーム事務局長・衆議院議員)

②15 時 30 分～16 時 50 分：「国際規格 ISO26000 と CSR 経営～ISO26000 から JISZ26000 の制定・公布へ～」

田中宏司氏 (前日本経営倫理学会副会長・東京交通短期大学学長)

* 報告①：

企業活動は、自己責任と自由意思を基本としつつ、透明で公正なルールに従い、正しい競争の下で行われるのが原則だが、傍ら

企業は社会的責任を有している。上場会社として、株式を公開していればその社会的責任は更に大きなものがある。かかる状況下、

大王製紙、オリンパス、をはじめ、深刻な企業不祥事が続発している背景には、個別企業の事情を超えて、あるべき企業統治や

情報開示を担保する仕組みが不十分であり、その結果として日本の資本市場への信頼が毀損されているとの結論に至った。我々は

企業統治のあり方について、WT (Working Team) を立ち上げ、専門家・有識者・法務省・証券取引所などから意見を拝聴し、

問題点を明らかにし、WT (Working Team) 独自の議論を重ね、改革案を作成したので、日本経営倫理学会の皆様はその報告と

議論の内容を明らかにしたい。

* 報告② :

本報告は、CSR 経営と最近の国際規格 ISO26000 および JISZ26000 動向について、次の 3 項目を中心に行う。

第 1 は、CSR の本質について報告する。まず、CSR の意味と CSR の基本コンセプトを最近の動向を踏まえて説明する。ついで、

現在の CSR 経営の具体的な内容と CSR 活動推進のメリットを簡潔に考察する。

第 2 は、国際規格 ISO26000 と JISZ26000 の特徴について報告する。まず、2010 年 11 月 1 日に発行した ISO26000 について、

国際規格としての特徴を述べたのち、わが国における JISZ26000 の制定・公布について説明する。さらに、社会的責任の 7 つの中核主題などについて、解説する。

第 3 は、CSR 経営と社会からの信頼について報告する。まず、企業の取り組みから、コンプライアンス経営を基盤とした CSR 経営

へと進化していることを説明する。ついで、CSR 組織体制の在り方や 情報開示と CSR 報告書の最近の動向について触れたのち、

CSR 経営の目的は、“社会からの信頼”の獲得にあると提言してまとめる。

4) 参加費 正会員 : 2,000 円 学生 : 1,000 円 (当日、例会会場にて申し受けます)

5) その他 ご出欠の確認を致したく、参加申込用紙 (Fax フォーム→) に必要事項をご記入の上

7 月 17 日 (火)迄に Fax または [E-mail](#) にてご返信ください。

以上